

東京建物株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、東京建物株式会社（以下「本法人」）が発行する第34回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023年7月6日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、2020年6月に策定したサステナビリティファイナンス・フレームワーク「八重洲・日本橋・京橋エリア（八日京エリア）における、社会課題解決に貢献するまちづくり」のソーシャルプロジェクト（①基本的インフラの整備・必要不可欠なサービスへのアクセス、②社会経済的向上・エンパワーメント、③食の安全）及びグリーンプロジェクトである「東京スクエアガーデン」及び「東京建物日本橋ビル」の取得・建設資金のリファイナンスに充当される予定です。

また、サステナビリティファイナンス・フレームワークについて、JCR（株式会社日本格付研究所）より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「SU1（F）」の評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上